



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 4年 7月 1日
東京都立羽村特別支援学校
副校長 平澤 登志子

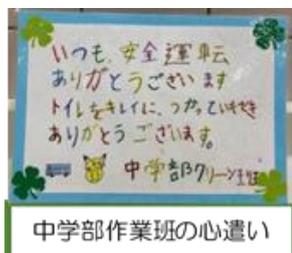
授業参観ありがとうございました

例年より早い梅雨明けとなり、暑い日が続きます。6月には3日間の授業参観日を設け、多くの保護者の皆様に御来校いただきました。児童・生徒は、保護者の方に見てもらうことを楽しみに、いつも以上に張り切っていました。教職員も多くの方に見ていただくことで、授業改善、指導改善につながりました。ありがとうございました。オンライン配信では一部御面倒をおかけしました。スムーズに配信できるよう努めてまいります。小・中学部のGIGAスクール端末、そして間もなく導入します高等部1年生の一人1台端末(略して:スマスク端末)に関して、お子様のアカウントを御確認いただき、積極的に御活用ください。夏季休業中に利用希望の方は、担任までお申し出ください。

ふれあい月間について

東京都では、いじめや体罰、不登校等について、早期発見・早期対応で未然に防ぐために、具体的な取り組みとして6月と11月をふれあい月間に定めています。本校では児童・生徒へいじめに関するアンケート(6月、10月学校評価、11月)、体罰に関するアンケート(12月)を実施していきます。6月にはイラスト付きのアンケートを教員が説明し、サポートをしながら実施しました。アンケートのみが児童・生徒の声を聴く場ではありません。日頃から教職員は人権感覚を研ぎ澄ませ、児童・生徒に寄り添っていきます。御家庭におかれましても、気になることがありましたら、連絡帳やお電話でいつでも御連絡ください。

ある学級では、相手を思いやる言葉を「ふわふわ言葉」、逆に傷つける言葉を「ちくちく言葉」と名称付け、学級指導をしています。ついカッとなって「ちくちく言葉」が出てしまうことがあります。経験をとおして、違う言葉に変える、ぐっと我慢する、「ごめんね、次から気を付ける」と言えるようになるとういことです。心温まる言葉や心遣いを見つけていきたいものです。

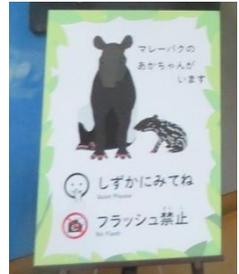


(右上に続く)

1学期のまとめの月です

新入生を迎えた4月から3か月が経ち、一人一人に成長がみられことと思います。今学期はお陰様で、5月の体育授業発表会を幕開けに、校外学習、移動教室、交流会、外部を招いての音楽鑑賞会など行事を少しずつ再開し、無事に実施できました。

児童・生徒は、校外での活動の中で楽しい思い出をぎゅっと詰めこんで満足した表情で帰校します。小学部4年生の多摩動物公園は途中雨が降り、雨合羽を着て移動したそうです。これまで雨合羽を着ることのできなかった児童が、周りの児童の様子を見、エールをもらい羽織ることができたそうです。また、「動物の赤ちゃんを見たよ。マレーバクの赤ちゃんは大人と模様が違った」と帰りの会で話をしていました。



小学部6年生は3年ぶりの移動教室を実施しました。友達との初めての宿泊です。事前学習では2日間の予定や宿泊施設を調べ、食事や入浴をすることや家族と離れて眠ることを学びました。教員は出発間際まで入念な打ち合わせを行い、いつも以上の緊張感をもって実施しました。さすが、6年生。事前に学習したことを生かし、身の回りのことを自ら行い、友達と協力しながら楽しく過ごすことができました。

3年ぶりと言いますと、プールでの活動もそうです。更衣室を含め、指導場面での3つの密を避けるため、例年とは異なる形で実施をします。感染症対策、水の中での安全指導を第一に考え、指導方法や指導内容を工夫し実施していきます。さて、夏季休業中に予定していた夏季プールについては、感染症対策、熱中症対策における安全管理の難しさ等を勘案し、実施を見送らせていただきます。御理解と御協力のほどよろしくお願いたします。

1学期もいよいよまとめの時期です。終業式まで、引き続き学習を積み重ね、一人一人が自信をもって1学期を締めくくることを期待しています。学期の終わりには「学校生活の記録」をお渡しします。お子さんの頑張りをぜひ褒めてください。